

栃木言友会会報

交流会報告 No. 229

2022年3月1日

発行責任者：古川 元一

編集責任者：古川 元一

TEL:090-3138-1507

【目次】

表紙	「Sうどん」(K県) K M P 1
近況報告	栃木言友会の皆さん P 2~5
次回交流会案内	Y A P 6

 この栃木言友会会報は、赤い羽根共同募金会の助成金により発行しています。

栃木言友会は皆さんが自主的に主体的、楽しく活動できるセルフ・ヘルプ・グループです

近況報告

2月交流会は「まん延防止等重点措置」が適用されている為中止としました。お忙しい所、近況報告を提供して頂き、ありがとうございました。

3月11日は、2011年に東日本大震災が発生した日です。風化させずに伝え続けていきたいです。

初めての味噌作り

Y A

発酵食品が、身体の自己免疫を上げるという話を耳にしまして、今年は人生初の味噌作りに挑戦しました。

私は子どもが生まれてから、YSというSの宅配を利用しています。

毎年、YSでは2月と10月に味噌作りセットを販売しています。これまでは“味噌は買うもの”と思っていましたが、嫁ぎ先が農家という恵まれた環境で過ごしていることもあり、作れるものは作ってみたいと思うようになりました。

味噌作りセットは、国産大豆、米麴、塩がセットになっています。国産大豆を使用した味噌が食べられると思うと、嬉しくなりました。

値段もそこまで高くなく、スーパーで少し高めの味噌を購入する感覚です。手間はかかっても、これは良いなと感じ、2月の三連休を使って仕込みました。

一番大変だったのは、茹でた大豆を潰す作業です。

味噌作りの手引きに、ビニール袋に入れて押し潰すと書いてあったので、道具がなくても簡単にできると考えていましたが、茹で方がいまひとつ足りなかったのか、この作業に手間取りました。

それでも何とか押し潰し(途中から麺棒で叩き潰しました)、米麴と塩を混ぜた大きなボウルに混ぜ合わせ、容器に詰め込みました。

大きなボウルは、義両親がうどん屋さんをやっていた頃のものでしょうか、一般の家庭にはないサイズのを借りました。大活躍でした。これがなかったら、大豆と米麴と塩をどうやって混ぜ合わせたんだろうか…と思わずにはいられませんでした。

味噌を入れる容器も、義母が持っている漬物作り用の容器のうちの一つを借りました。道具を借りる際、実は味噌を作ってみるんだと義母に伝えたところ、家でも味噌を作る人がいてくれる、と喜んでくれました。

重石に使う石も、漬け物小屋にある石を借りました。義母が、その辺から見えそうなものを見繕ったそうです。

重石は洗って熱湯をかけて乾かし、ビニール袋に入れ、袋も台所用アルコールで消毒してから使いました。

現在、味噌容器は二階の廊下に置いてあります。

何度か気になって蓋を開けてしまったのですが、すごく良い香りがしました。暖かい季節が来たら、蔵に入れるといいよと義母が言ってくれています。

味噌は5月に天地返しをしてまた寝かし、早ければ8月頃に食べられるそうです。

上手く出来上がるかわかりませんが、その日を楽しみに待ちたいと思います。

S S

お陰様で、また自分の誕生日を迎えることができました。

綱川さんもお目出とうございます。

この会報に目を通すことができた会員の皆様も、K禍でも生き延びることができて、お目出とうございます。

そしてまた、有難いことだと思います。

今年始めに決めた「正」の書き初めが、まだ取りかかれていません。その他、やろうと思っても未実施の事はたくさんあります。なので、ここではできたことだけ書きたいと思います。

冬季オリンピックをテレビやラジオで視聴することができました。

また、スマホのインターネットを使いこなすことができるようになり、スマホでもオリンピックに関することや、今S争が表面化したUのことなどで、新しい知識を得られたり、見逃したフィギュアスケート視聴などができました。HY選手の4年前のフリーが、今回スマホで見ることができたのは有難くて嬉しくて幸せに思います。

そして今回はショートもフリーもエキシビジョンも、リアルタイムで視聴できラッキーです。美しいものを見せていただき感謝・感激・感動で涙が出ました。H選手のインタビューもスマホで調べることができ、ノート2冊に書きとめることもできました。

H選手は2度の金メダルの金賞の全部や、本の印税全部を東日本大震災の被災地東北3県に寄付していることも知りました。その前にAS選手がSのアイスリンクに寄付していることも知りました。4回転半の挑戦は命がけということも知りました。

会見の中で、「守ること」も挑戦であり、皆がそれぞれ、何らかの挑戦をしているという言葉も目からうろこでした。最近読み直したり、新たに読んだりしているSさんの説法の

中にも、Sさんが90歳頃にケータイ小説を書くという挑戦をして楽しかったし、死ぬまで挑戦と語っています。

また、今日、3月2日に、85歳にして初めて実物の大きなF山をK湖まで見に行き、初めて「わたしのF山」の絵を描く姿や、伝統浮世絵師工房の挑戦をPカフェで見ることができ、感動とエネルギーをいただき、私ならではの挑戦にとりかかることができました。今やっている挑戦の一つは、干し野菜と、漬け物です。晴れの日なら、生大根から2日程で歯ごたえのある減塩たくあんやこうじ漬けができます。

お互いに生き延びてまたお会いしましょう。

古川 元一

新型KウイルスのO株が猛威を振るっております。

栃木県内でも感染する方が1000人を超える日も数日あり、先月から「まん延防止等重点措置」が適用されており、その影響で2月交流会が中止になっております。

参加をご希望されておられた方にはご迷惑をおかけしましたが、ご理解のほど宜しくお願い致します。

このような状況中でも栃木言友会会員様に置かれましては感染されない様、最新のご注意をされておられること本当にお疲れ様です。

そんな中、私にもワクチン3回目の案内が来ました。接種日は3月上旬の予定です。電話してみると早めに接種できるとの事。希望の会場を指定すると、日時がわかり予定より1ヶ月も早く接種出来安心です。製薬会社はMですが、前回同様副反応もあまりなく済みしております。

今年は車検の年です。3月下旬までの期限になっており、少し早いですが2月中旬にディーラーに電話をして期限内の予約が出来ております。ワクチンの電話では名前や生年月日さらに住所まで話しました。

車検予約時は名前と希望の日時だけでしたが、この時も問題なく電話で話すことができ良かったです。

栃木言友会交流会で吃音改善研究会の成果が出ていると思います。

本年度も確定申告に行ってきました。昨年からは新型Kウイルス感染症対策により、電話での予約が必要になっております。昨年、電話で予約を申し込めた時はオペレーターの方が少なかつたのかなかなか電話が繋がらずでしたが、今年は自動音声案内により直ぐに予約が出来助かりました。希望した日時に会場に行き受付をして待ち時間も5分程度で対応して下さいました。現役の頃から比べると収入の金額も少なく戻り金があるのか不安でしたが、今年も少しですが還付金があるようです。

プリンターのヘッド交換を近くの家電量販店に持って行き依頼をしましたが、部品保管年数が過ぎていると言う事で交換が出来ませんでした。家電量販店に行き注文してきました。入荷までは3週間ほどかかるとのことですが、引き続き会報の印刷ができる事にほっとしております。

K K

昨年の10月下旬に庭にクロッカスやチューリップの球根を子どもと植えました。それから4か月が経ち、ここ数日で白・黄・紫の色とりどりの花が咲きました。今年は2月下旬になってもあまり暖かくならなかったのが、例年より咲くのが遅かったように思います。

3月になり気温が上がると、それと同時に咲き始めました。同じ日に植えた球根でも、成長のスピードや咲くタイミングが違うのは面白いです。そのタイミングのずれが長く楽しめることに繋がっているのかもしれませんが。植物の成長を見ていると、人間の成長のしかたを考えさせられます。また、新型Kウイルス感染症の長期化、そして世界情勢が不安定な状況の中で心が癒されています。

次回対面交流会は3月26(土) 14時00分より交流会を開催します 会場はとちぎ福祉プラザ会議室です

3月交流会はSさんです。ご期待ください。

3月交流会は第4土曜日に開催されます。お間違えの無いようお願いいたします。

マスクの着用されての交流会ご参加をお願いします。

栃木言友会会費納入先、お近くの郵便局から

郵便局口座番号 00190-1-760304 口座名称 栃木言友会

4月24日(第4日曜日 201 会議室) 5月22日(第4日曜日 小山市立生涯学習センター)

次回交流会のお知らせ

日時・開催場所：**3月26日(土)** とちぎ福祉プラザ 401 会議室
14時00分～16時30分 栃木言友会交流会
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940

1階の案内は栃木言友会交流会になっています

交流会内容：近況報告 副題：「今年1年の目あてを漢字一文字に書くと？
または日本製のオススメ商品」

交流会Ⅰ：「吃音改善研究会」 担当：T

交流会Ⅱ：『感謝や有難うを声に出して伝えよう。』 担当：S

- 自分の体の細胞一つ一つに。
- 自分を生かすために、犠牲になってくださったもの、人…。
- 毎日お世話になっている人や物や生き物に。

連絡先 〒329-4425 栃木県栃木市大平町新 1385-33 古川元一

携帯 090-3138-1507 E-mail: genyut@mocha.ocn.ne.jp

栃木言友会ホームページ <http://tochigi.sakkt.net/index.html>